能登公害視察会に参加して

保団連副会長　小澤　力

参加レポート

9月27日、28日の両日、保団連公害環境対策部が石川県能登で開催した公害視察会に参加しました。一日目に石川県保険医協会の種市靖先生から珠洲原発の予定地だった珠洲外浦の現状について、写真や動画で報告していただきました。住民の反対運動で原発建設は阻止されましたが、原発予定地は能登地震の震源地にあたり、地震と9月の奥能登豪雨で、地殻の隆起、津波、山崩れで今も惨憺たる状況です。かろうじて、道路はかつての海（隆起により今は陸地）を細々ながら、通せる部分が一部にあるだけです。残念ながら珠洲原発予定地には行くことはできませんでした。

2日目は七尾市から穴水町を経由して、能登半島を東から西に横断して門前町、志賀原発に向かいました。七尾市にある有名な加賀屋旅館は、海岸線の沈降により、海側に面した建物は傾き、無惨なヒビが大きく走っています（写真上）。かつての海岸には、大量の石材が投げ込まれ、護岸工事のさなかでした（写真中）。建物の取り壊しはまだまだ先になるとの事でした。穴水町から門前町までの車窓には、通り過ぎて行く多くの仮設住宅が目に焼き付きました。門前町の海岸線の道は、かつて海底だった陸地が続きます。バスから降りたった「かつての」黒島漁港は、4メートルも陸地が隆起して防波堤に守られていた漁港は丸ごと、今では草ぼうぼうの陸地と化して、その防波堤のさらに100メートル沖合いの島も陸地の一部になっています（写真下）。もはや海藻のカジメやモズク取りもできず、漁船も陸地で干上がった状況です。

現行の制度では家屋が半壊以下の判定では、仮設にも入れず、公費解体、医療費減免なども受けられません。その医療費などの免除も国保、後期高齢者は6月に打ち切られ、9月末には免除に対する国の財政措置も期限を迎えました。

視察に参加して、復旧の遅れが、過去の震災と比べて突出していると実感しました。石川県保険医協会は「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める請願署名」の取り組みを全国に訴えています。

被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める請願署名

【請願項目】

1．被災者生活再建支援法にもとづく支援金については、耐震基準を満たす家屋を再建できる額に引き上げること。
2．支援金は、半壊や一部損壊を含めるなど支給対象を拡大すること。また、小規模な自然災害にも支給できるよう適用条件を大幅に緩和すること。
3．当該支援金の財源について、国の負担割合を引き上げること。
4．国及び自治体の防災体制を拡充し、「災害に強い街づくり」を進めること。
5．都道府県及び救助実施市における「災害救助基金」制度を廃止し、国庫による「防災基金（仮称）」を新たに設け、国の責任で救助にあたること。

オススメします！ 休業保障

受給者の声

突然の急病　制度のありがたみを実感

突然の急病で２週間、計10日間の入院を余儀なくされました。年齢的にもつい自分は健康であると過信しがちでしたが、実際に働けなくなると収入が止まり、生活や家計に直結する不安を強く感じました。今回、休業保障制度から日額２万4000円（３口分）、計24万円の給付を受け、家族の生活費に充てることができました。休業状況報告書や医療証明書の準備など、給付まで少し時間がかかりましたが、制度のありがたみを実感しました。類似の保険は年齢が上がるにつれて掛金が上がるのが一般的ですが、休保は掛金が据え置きで、長く加入するほど安心が積み重なります。将来、再び病気やケガで働けなくなる可能性を考えると、経済的な備えとして大きな意味を持つと感じました。今回の経験を通じて、日頃から健康に気をつけることはもちろんですが、万一に備える制度の重要性を改めて認識しました（40代勤務医）。

保険医休業保障共済保険

予期せぬ病気・ケガに備えて！　保険医協会だけの充実保障

●休業４日目（免責３日）から給付
●入院は初日から給付対象です

受付は12月31日まで　【加入日】2026年4月1日

お問い合わせ　大阪府歯科保険医協会・共済部　06-6568-7438

保団連研究会　交流サイト

事前登録が必要です

当面のラインナップから（一部抜粋）

11月５日(水) 19:30～21:00　保険診療における間接法メタルフリー歯冠修復ーCAD/CAM冠・インレー、PEEK冠、エンドクラウンについてー／坪田有史氏（坪田デンタルクリニック（東京都）院長）

11月15日(土) 16:00～18:00　医師・歯科医師及びメディカルスタッフのための第28回循環器セミナー「みんなが納得する高血圧治療とは？ー高血圧管理・治療ガイドラインから一」／樂木宏実氏（特別講演）（大阪ろうさい病院総長）

11月27日(木) 19:30～21:00　能登半島地震学習会「令和６年能登半島地震の経験を活かしたい」／平田米里氏（石川県保険医協会副会長）

11月27日(木) 19:00～20:30　マイナ保険証学習会「マイナ保険証に見る日本の医療DXが抱える困難さ」／北畑淳也氏（思想家、YouTube番組「哲学系ゆーちゅーばーじゅんちゃん」主宰）

協会行事案内

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M＆Dホールは保険医会館東隣りです。

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定をご確認ください

【会員・スタッフ対象】（保育あり）

第3回社保講習会『歯冠修復・ブリッジ、有床義歯、在宅医療』
日時　11月1日（土）午後6時～8時
会場　M&Dホール
講師　社保研究部講師団
会費　無料　定員　100人
持参物　「歯科保険診療の研究」（2024年6月版）
保育は10日前までに要予約。

堺・高石・和泉地区　文化企画

堺再発見ウォーク～百舌鳥古墳群を歩く～
日時　11月9日（日）午前9時30分～11時15分
集合　JR阪和線百舌鳥駅
参加費　無料　※終了後のランチ懇親会等は実費

【会員対象】個別指導対策講習会

指導の最新情報と指導に備えるカルテ記載のポイント
日時　11月9日（日）午前10時～正午
会場　協会仮事務所
講師　社保研究部講師団
会費　千円　定員　30人
持参物　『カルテ記載を中心とした指導対策テキスト2025年3月版』（3千円）

【会員・スタッフ対象】堺・高石・和泉地区

外来患者が自宅療養になったらどうする～訪問診療の最初の一歩～
日時　11月15日（土）午後7時～9時
会場　サンスクエア堺（JR堺市駅徒歩3分）
講師　坂口勝氏（堺市南区勤務、元堺区開業）
会費　無料　定員　80人

【会員・スタッフ・家族対象】

今押さえたい、歯科医院経営の改善と増患対策（仮）
日時　11月16日（日）午前10時～正午
会場　M&Dホール
1部　経営標準別にみる収支チェックのポイント
井川博幸氏（井川税理士事務所／協会税理士団）
2部　今求められる歯科の増患対策
細羽雄太氏（エニータイムヘルスケアコンサルティング株式会社）
会費　無料　定員　80人

市民公開　おおさか医科・歯科九条の会・市民講座

底が抜けた国～日本社会は自浄できるのか!?（仮）
日時　11月16日（日）午後2時～4時
会場　M&Dホール＋Zoomウェビナー
講師　山崎雅弘氏（文筆家、戦史・紛争史研究家）
会費　無料　定員　80人

専門家による無料相談

法律相談	11月10日(月) 14時～16時(30分枠)
税務相談	11月19日(水) 14時～17時(1時間枠)
雇用相談	11月20日(木) 14時～16時(30分枠)
システム相談	第3土曜日　14時～17時(1時間枠)

※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み